

電力の需給状況と節電へのご協力のお願いについて（続報）

2021年1月12日
電気事業連合会

昨年12月下旬以降、全国的に厳しい寒さが続いており、例年に比べ、電力需要が大幅に増加しております。1月8日には、西日本を中心に全国7エリアで最大需要が10年に1度程度と想定される規模を上回りました。一方、供給面では、悪天候により太陽光発電等の発電量が低下する日も少なくありません。

こうした中で、電力各社においては、日ごろ稼働していない高経年化火力を含めたあらゆる発電所をフル稼働させるなど、供給力の確保に全力を尽くすとともに、電力広域的運営推進機関と連携しながら需給ひっ迫エリアへの広域的な電力の融通を行い、現段階では安定供給を確保しております。電気事業連合会においても、それらの取り組みに対する支援を行うなど、安定供給の確保に最大限の対策を講じているところです。（※1）

しかしながら、天候不順や厳しい寒さは今後も続くことが予想され、太陽光発電からの発電量も多くは見込めない状況です。また、高経年化火力発電所の稼働に伴いトラブルが発生するリスクや、火力発電の発電量の増加に伴い発電用燃料の在庫が少なくなるリスクが高まっている状況です。（本年1月10日お知らせ済）

こうした中、本日も厳しい寒さが続き、電力需要が想定を上回って推移しているエリアもあることから、今後、夕方に電力需要のピークを迎える可能性もあるなど、電力需給がさらに悪化することが懸念されます。

各エリア一般送配電事業者HP「でんき予報」（14時時点記載の本日の予想ピーク使用率と時間帯）

エリア	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
使用率	95%	97%	95%	95%	96%	98%	96%	97%	96%
時間帯	9~10時	9~10時	16~17時	17~18時	10~11時	17~18時	9~10時	9~10時	18~19時

お客さまをはじめ、広く社会の皆さまには大変ご迷惑とご心配をお掛けし、誠に申し訳ありませんが、寒波の中での暖房等のご利用はこれまで通り継続していただきながら、日常生活に支障のない範囲で、照明やその他電気機器のご使用を控えるなど、電気の効率的な使用（※2）にご協力いただきますよう、重ねてお願いいたします。

各地域の電力の需給状況については、それぞれの一般送配電事業者のHPに掲載している「でんき予報」をご確認ください。

以上

※1 電力各社が実施している供給力追加対策

試運転電力の活用

供給計画に計上していない建設中の発電機の試運転として供出される電力を追加供給力として調達すること

電源Ⅰ'の活用

T S Oが予め契約している10年に1回程度の厳気象（猛暑および厳寒）時等の稀頻度な需給ひっ迫時において、需給バランス調整を実施することを目的とした調整力を活用すること

火力発電プラントの増出力運転

火力発電所の発電機定格出力を超えた運転をすることで追加供給力として活用すること

電源Ⅲ（共同火力の増出力等）

小売事業者と受給契約のある発電事業者さまの電源Ⅲ発電機について増出力を依頼し、追加供給力として調達すること

自家用発電追加調達

特定自家用電気工作物を保有されている事業者さまへ増出力を依頼し、追加供給力として調達すること

各社間ひっ迫融通拡大

複数のエリアで需給がひっ迫する場合に、送電する会社が安定供給を維持できる分のみを確保し、それ以外を融通することで、多くの融通電力を送電すること

L N G船の高速運用

L N G船の航行速度を上げることによる基地への到着前倒しや、L N G船入港の際、沖合待ち時間を極小化し速やかに受け入れること

石油燃料在庫・内航船の融通

各社の原重油在庫数量の融通、および社外石油基地から発電所への原重油転送用の内航船余力の融通

※2：経済産業省資源エネルギー庁「省エネポータルサイト」

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/